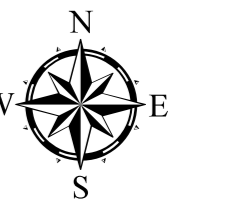
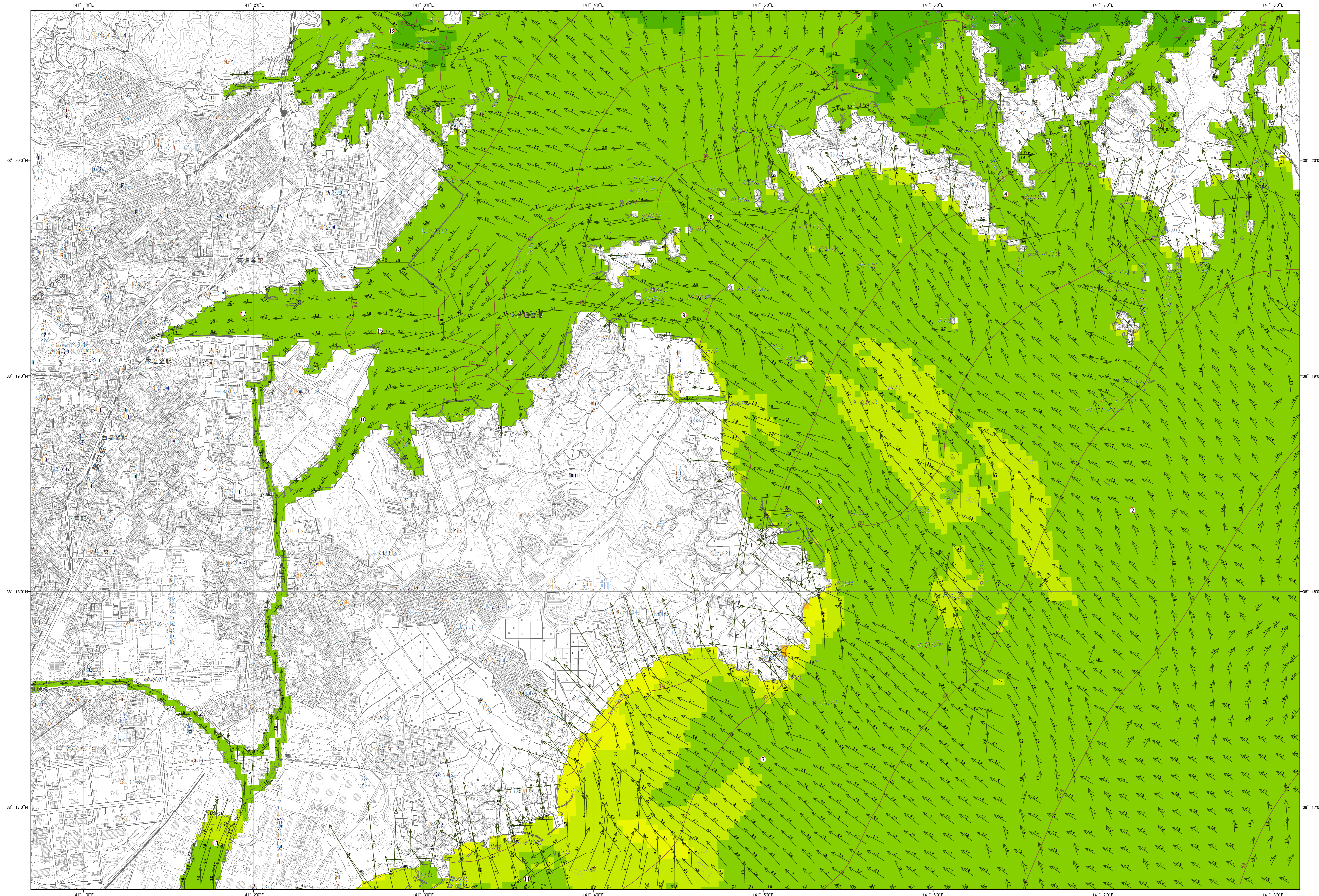


計算条件: 最高水面(零位)
隆起量: 平均 0.00m
Z0: 0.92m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



投影系: メルカトル図法
測地系: 世界測地系 (WGS84)



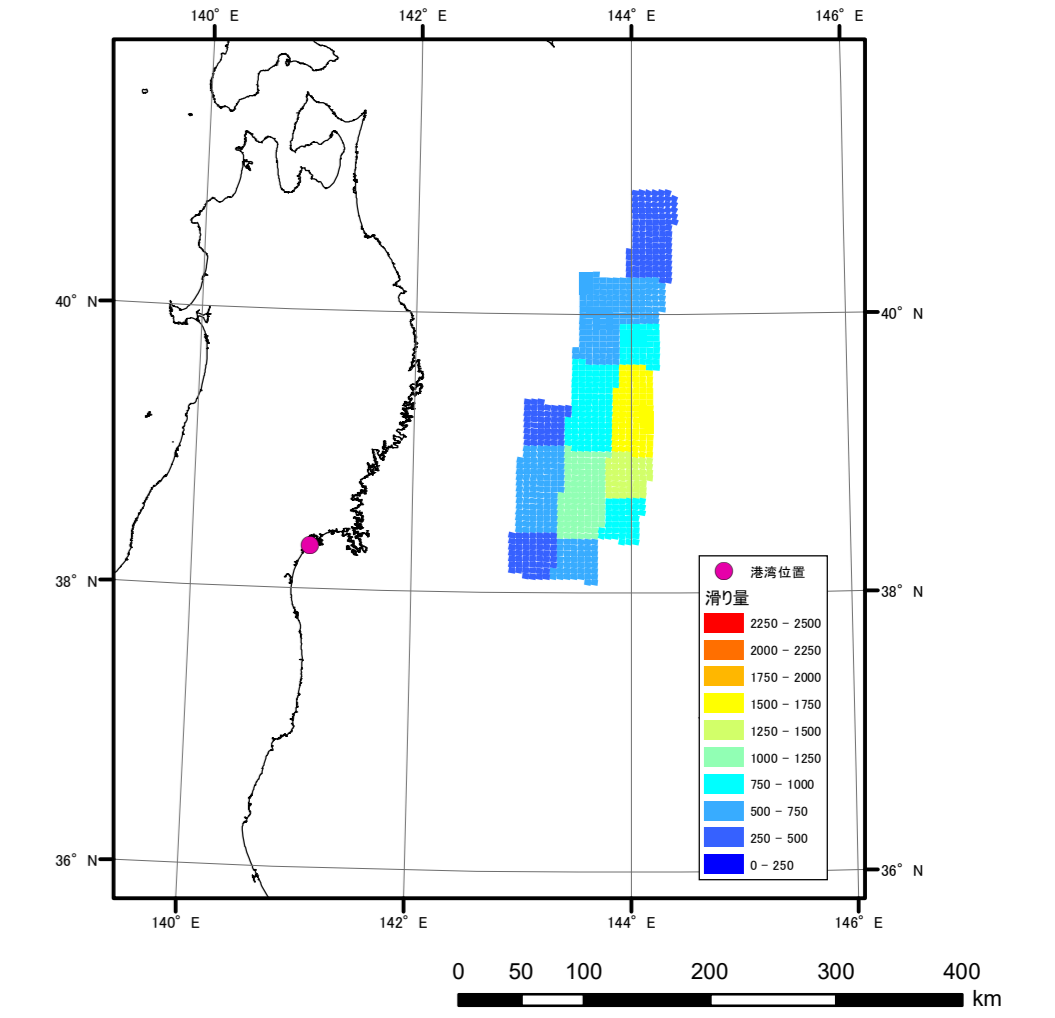
凡例

- 水位上昇(+10cm)となる等時線(分)
- 最大水位上昇
 - 5~最大5.5m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 経時変化出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)
- 水位・流向・流速経時変化図
(別図参照)

- 進入時最大流 [knot]
 - 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot

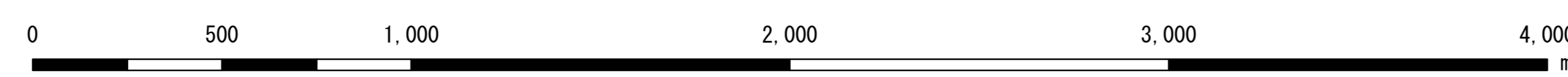
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断面モデル



明治三陸地震

モーメントマグニチュード Mw 8.6



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情保 第1374号 平成29年3月10日)

作成機関: 海上保安庁
防災情報図作成年月: 平成29年9月(初版)
地形データ作成年月: 平成29年1月(改版)